

福生市
こども計画策定のための
高校生ワークショップ

報告書

1 事業概要

(1) 実施目的

令和6年度からはじめる「こども大綱」を踏まえた「こども計画」の策定に向けて、こども・若者の意見を取り入れるため、市内の高校に通う生徒を対象に任意参加型のワークショップを実施しました。

(2) 概要

ワークショップは以下の日程で開催されました。

日時：令和6年6月15日（土） 10：00－11：30 場所：もくせい会館3階会議室

2校から計20名が参加し、4グループに分かれて意見交換をしました。

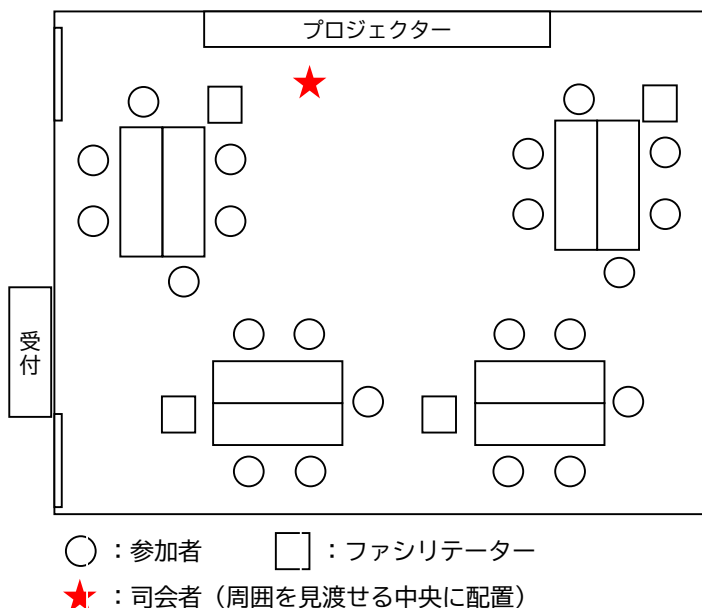
参加高校と人数の内訳は以下の通りです。

高校名	参加者
都立福生高等学校	10名
都立多摩工科高等学校	10名
合計	20名

(3) 会場レイアウト

当日は、4つのグループに分かれて座っていただきました。また、各グループに1名のファシリテーターを配置しました。

会場では、看板を設置したり、BGMを流したりすることで、参加者が緊張せずにディスカッションができる雰囲気をつくりました。



2 当日の流れ

(1) 開催準備

受付時に宛名シールを配布し、自分が呼ばれたい名前で名札を作成していただきました。受付後、ファシリテーターの案内で、事前に振り分けた席に座って待機していただきました。

(2) 挨拶とルール説明

挨拶の後、司会者が「第1期こども計画」の概要と、ワークショップの主旨を説明しました。ワークショップのルールとして以下の事項が説明されました。

- ① 自由奔放（どんな意見も歓迎）
- ② 批判厳禁（意見の批判はしない）
- ③ 量を求む（意見の数で勝負）
- ④ 便乗発展（意見を結合して発展させる）

(3) アイスブレイク

参加者の緊張をほぐすためのアイスブレイクとして、「まちのGoodなところ！」という簡単な企画を行いました。福生市のまちのよいところを参加者それぞれが発表し、模造紙に付箋で貼っていきました。

それぞれが話すことに慣れてもらうと同時に、福生市について再確認・再発見していただき、次のディスカッションにて自分たちのまちのことについて意見交換する心の準備をしていただきました。また、模造紙に付箋を貼ってまとめていくという今回のワークショップのやり方を確認していただきました。

(4) ワークショップ

1. 全体の流れ

ワークショップでは、2つのテーマについてディスカッションしていただきました。参加者がそれぞれ意見を付箋に書き、それを模造紙に貼り付けながら整理していきました。

2. テーマ

- ① 子どもにとってどんなまちが住みやすいか？
～あなたにとってほっとできる場所、居心地のよい場所は？～
- ② 子どもの権利が守られる社会をつくるために
～みんなが笑顔で自分らしくいられるためには？～

3. 参加者全員が意見を発表

ファシリテーターの助言の下、グループで出されたいろいろな意見を参考に参加者各自が意見をまとめ、発表していただきました。

3 テーマ①の意見

(1) 全体概要

テーマ①では、「今、現在」ほっとできる場所、居心地のよい場所と、「これから」について考えていただきました。

「今、現在」では、家など個人のプライベート空間、友達に会える学校、既存の飲食店や娯楽施設が挙げられました。「これから」では公園や博物館等の公共施設、映画館や動物園、水族館等の幅広い娯楽施設が挙げられました。

(2) 主な意見

【テーマ①】今、現在について

分類	意見	理由
家	家	好きなことができる
	家	一番落ち着く
	自分の部屋	安全性が高い
	自分の部屋	一人の時間が確保できる
	自分の部屋	自分の趣味に熱中できる
	布団の中	ぐっすり眠れるから。安心する
	お風呂	冬に入ると温かい気持ちを味わえる
	祖父母の家	ゆっくりできる
個室	車の中	閉鎖空間が安心する
	トイレ	狭くて誰にも見られない場所
学校	学校	友達が居るところが安心する
	学校	友達に会えて活力が湧く場所である
	学校	テニスができる
公共施設	図書館	静かでよい
	音楽スタジオ	ドラムができる
	避難場所となる公共施設	災害時に避難できる
飲食店	カフェ	少し雑音があって、集中しやすい
	ハンバーガーショップ	美味しい
ショッピング	ショッピングセンター	色々なお店があって暇つぶしができる
	コンビニエンスストア	美味しいものがたくさん売っている
娯楽	カラオケ	安い金額で長時間潰せる
	ゲームセンター	とても楽しい
にぎやかな空間	人が集まって賑やかな場所	気分を上げることができる
	ベースサイドストリート	普段食べられない外国の食べ物がある
プライベート空間	自然がある場所	
	静かな場所	落ち着くことができる

【テーマ①】これからについて

分類	意見	理由
公共施設	航空公園	横田基地があるから
	みんなが使えるジム	筋肉をつけたいから
	博物館	あらゆる科学の分野を学びたい
	児童館	きれい・静か・楽しい
	人と関わる場所、個人の空間でリラックス	両立することで利用が増える
	人と交流できる場所	一人の寂しさを埋められる
	より利用しやすい個室系サービス	個人の空間
	自然林のある公園	虫採りがしたい
	大きい公園	ボールの使えるところが少ない
	小さい公園	友達と話す場所がほしい
	芝生の場所	
娯楽	若い世代の娯楽施設	幼い子から成人まで様々な年齢層の居場所
	アニメグッズ販売店	福生市にないから
	室内型スポーツ施設	福生市にないから
	大きなゲームセンター	楽しい
	大きなプール	ワクワクする
	映画館	映画を観たい
	動物園・水族館	きれい・静か・楽しい
	子どものギャンブル	スリルがある
学校	仮眠部屋	企業によっては仮眠時間があるので、学校にも仮眠制度をつくりたい
	学食	みんなで楽しく食べたい
	学校にアイスの自販機	みんなで楽しく食べたい
ショッピング	大型スーパー	おもちゃ売り場が小さい
	外資系スーパー	大きなショッピング
	駄菓子屋	古き良き場所
	お菓子の自販機	みんなで楽しく食べたい
飲食店	個人経営のカフェを増やす	色々なコンセプトをつくれる
	個人経営のカフェを増やす	ロボットが増えてくるので、人にしかできないことができる場所をつくる
無料	手数料のかからない両替	両替したい
	無料で使える交通機関	便利

4 テーマ②の意見

(1) 全体概要

テーマ②では、みんなが笑顔で自分らしくいられるためには何が必要かを考えていただきました。グループごとに特色のある意見が出ました。

(2) グループで出た主な意見

Aグループ

Aグループでは、子どもの意見を聞く、相談できる場所がある、学費や医療費の補助がある等の意見が出ました。

また、「共通」意見として、問題解決には多くの人が問題に興味を持つことが必要であるということが挙げられました。

分類	意見
個人	子どもの意見を大人が馬鹿にしない
	自分と似た趣味、意見を持つ人との関わりを持ちやすくするとよい
	まちづくりをするにあたって、子どもの意見を聞く機会を増やす
	お互いを認め合うことでより個性を認め合える
共通	多くの人にこの問題について興味を持ってもらえるようにすれば、改善される率が高くなる
環境	相談できる場所がある
	相談できるサイトなどをつくる
	イベントなどに自由に参加や開催できる
	病院代が安い
	友人関係を広げやすい環境
	学費の補助がある
	好きな言語を学ぶことができる

Bグループ

Bグループでは、子どもの権利条約の4つの権利に沿って意見を出し、そこから「自分らしくいられる姿」を導きました。自分らしくいるためには、家族や友達と過ごす時間や、小馬鹿にされない、意見を受け入れてもらえることが挙げられました。

分類	意見
生きる権利	学校に犯罪を起こす人がいない環境
	学校給食を廃棄するのではなく、無料配布する
	がん診断などの医療が無料で受けられる
	気軽に相談できる人
	食べ放題増えてほしい
	これまで以上に学校でインターネットを使用したい
	自転車の利用者にヘルメットを普及させる
育つ権利	学費を払わなくてもよい権利
	自分のしたいことができる権利
	教育をリモートで受ける権利
	自由におしゃれができる
	義務教育をしっかり受けられる
	年上の方に怒られない環境
守られる権利	遅刻を許される
	バイトの休憩時間が増えてほしい
	反論できる権利
	子どもに対しての労働をなくす
	恰好よく見せることを親に茶化されない
	小学生まで学校の昼寝を設ける
	正当防衛の範囲が緩くなってほしい
参加する権利	女子会に参加
	自分で政党をつくる
	選挙活動をネットでできるようになってほしい
↓	
自分らしく いられる姿	友達と遊べる幸せ
	家族と一緒に食事ができる
	小馬鹿にされない
	無気力に生きてもなんとかなる世界
	自分の趣味に熱中できるとき
	家族と出かけている時
	自分の意見を受け入れてもらえる
	時間を多く潰せる安価な場所

Cグループ

Cグループでは、子どもの権利条約の4つの権利に沿って意見を出し、そこから意見を集約していきました。周りのことを考えること、自分の意見を言えることが、自分が主役になる姿につながるという結論が出ました。

分類	意見
生きる権利	ご飯を食べている時
	お菓子を食べる
	病院に行く
	睡眠
	布団で寝ることができる
育つ権利	勉強する時
	健康に育つ
	挑戦することを否定されない
	知ることができる
	学べる場所がある
守られる権利	聞いている時（趣味）
	好きなことをしているとき
	交通安全
参加する権利	不審者が学校に来ない
	校則が厳しい
	制限されすぎない
	学校での指導の差がない
	生徒の意見を聞くことができない
	メイク禁止
	着るものの色指定
↓	
	仲良く
	周りのことを考えて過ごす
	意見を言える
	意見を否定されない
	子どもが出した意見を完全否定せず、一人の意見として聞いてほしい
↓	
	自分を出せる
	将来の夢がある
	健康に育てる
	自分が好きになる
↓	
	自分が主役になる姿！！



Dグループ

Dグループでは、「社会活動」「環境」「学校」「趣味」についての意見をまず出しました。ボランティアに参加する、安全に過ごせる環境づくり、自分たちで決定できる校風、好きなこと・やりたいことができる環境が挙げられました。

自分の個性が尊重されることや、小さい頃から過ごしやすい環境が大切であるという結論が出ました。

分類	意見
社会活動	高校生がボランティア活動に参加する
	様々な環境、場所で大人との距離が近い
	地域懇談会
	ごみ収集、ポイ捨て対策
環境	交通安全の意識向上
	信号の整備
	自転車道の整備
	自転車で安全に走ることができる
	子どもの意見が出しやすい環境
	防犯対策がしっかりとれている
	不審者がいない
	欲しいものを購入できるお店がある
学校	ジェンダーにとらわれない
	友人と言葉を交わしている時
	修学旅行先を自分たちで決めたい
	文房具が安価で揃えられる
	生徒会活動中
	校則を生徒自身が決定できる
	校則が厳しすぎない
	学校内での活動を自分たちで選択できる
	雪の日は早めに帰宅させてほしい
	外に出て遊べる、運動できる
趣味	1人1人の趣味を活かすことができる施設があるとよい
	旅に出る時、自分を探している時が1番自分らしくいられるから
	趣味をしているとき集中できるから
	好きなものに夢中になっている時
	自分のやりたいことができる
↓	
	自分の個性を尊重
	小さい頃から過ごしやすい環境



5 まとめ

テーマ①については、居心地のよい場所について意見がありました。家など個人のプライベート空間を確保しつつ、気分を上げることができるにぎやかな空間として交流の場や遊び場、学びの場を提供してほしいといった意見をいただきました。

テーマ②については、子どもの権利を守り、個性を尊重する社会を実現することが提案されました。具体的には、安全に暮らすための公園や遊び場の整備・安全な自転車利用環境の整備、ボランティア活動への参加促進などの意見がありました。

○その他主な意見

テーマ①

- ・家、飲食店、教育機関、公共施設を提供してほしい。
- ・飲食店ではカフェなどの個人経営店を増やし、コンセプトを伝えられる場所を作る。
- ・公共施設は人と関われる場所や個人の空間を提供し、リラックスできる場所を設ける。また、広い公園や水辺の整備なども行う。

テーマ②

- ・子どもの意見を尊重し、自分らしく生きられる社会を作る。
- ・相談できる場所を設けることで、多くの人が問題を共有できる。
- ・家庭での趣味の時間や、プライベート空間を確保する。学校では自由に選択できるコースを設け、趣味を楽しめる環境を整備する。また、自転車が安全に走行できる道路や、欲しいものが買える店舗を整備する。
- ・地域との交流の機会を増やし、子どもの個性を尊重する。

①子どもにとってどんなまちが住みやすいか？

～あなたにとってほっとできる場所、居心地のよい場所は？～

自分の部屋

(理由) 一人の時間が確保できる、安心できる

交流できる場所

(理由) 気分を上げられる、友達と話しができる

②子どもの権利が守られる社会をつくるために

～みんなが笑顔で自分らしくいられるためには？～

個性が認められる

意見を受け入れてもらえる

相談できる場所

ボランティア活動への参加

6 参加者アンケート

(1) アンケート内容

参加していただいた高校生に、今後のイベント運営の参考資料として活用するため、簡単なアンケートを実施しました。設問は以下のとおりです。

- Q1 あなたの学年を教えてください。（数字を記入）
- Q2 あなたのお住まいは、福生市内ですか。（番号を選択）
- ①はい
- ③いいえ（ 市）
- Q3 高校生ワークショップに申し込みをした理由は何ですか。（番号を選択）
- ①高校生ワークショップに興味があったから
- ②友達に誘われたから
- ③その他（理由： ）
- Q3 高校生ワークショップに参加して良かったと思う点がありましたか。（自由記述）
- Q4 よくなかった点、改善が必要だと思う点がありましたか。（自由記述）
- Q5 その他 意見などがあれば記入してください。（自由記述）

(2) アンケート結果

1. 学年（Q1）

各学年、5名前後の参加をいただきました。内訳は以下の通りです。

1年生	2年生	3年生
4名	7名	8名

2. お住まい（Q2）

福生市から参加された方は3名でした。16名は他市町からの参加でした。

内訳：昭島市（5名）、あきる野市（3名）、青梅市（3名）、日野市（2名）
立川市（1名）、瑞穂町（1名）、羽村市（1名）

3. 申し込みをした理由（Q3）

申し込みをした理由については、「その他」を選択された方が多数いました。その他意見としては、「先生に勧められた」、「生徒会で参加した」等がありました。件数の内訳は以下のとおりです。

	件数
高校生ワークショップに興味があったから	5件
友達に誘われたから	2件
その他	12件
合計	19件

4. 高校生ワークショップに参加して良かったと思う点（Q4）

以下の様な意見が挙げられていました。

福生のよいところを知ることができた

福生市が今後どうしたいかを知ることができた

将来の子どもについて色々知れてよかった

色々な人の福生市への思いを聞いた

改めて自分の意見が明確になり、街をよりよくしていきたい気持ちが強く湧いた

子どもの権利などについて色々な意見を聞いて、新しい考え方ができた

意見を交換することで、より自分の考えを深めることができた

同じ高校生でも考え方や感じ方が異なっていて、色々な人の考えを聞いてよかった

普段考えないことについて言語化することができた

発表のスキルアップにつながった

5. よくなかった点、改善が必要だと思う点（Q5）

以下の様な意見が挙げられていました。

少し時間が短かった

もう少し意見を出せばよかった

意見があまり出てこなかった

タイムスケジュールを全員が把握できていなかった

考える内容が難しく、よい意見をあまり出せなかった

6. その他意見（Q6）

以下の様な意見が挙げられていました。

これからも、こういった場をつくって開催することに賛成だ

高校生だけでなく、小学生などに向けたワークショップがあってもよいと思う

班の人たちと意見交換をして色々な案が出せてよかった

このような場を設けていただいたことに感謝している

また参加したい

貴重な体験ができた



7 参考資料

(1) ワークショップ説明用スライド

福生市こども計画のための 高校生ワークショップ



1

こどもたちの意見を聞くことについて ～なぜワークショップを行うのか～

【こども基本法とは】

こどもの幸福な生活を目指すこども政策を総合的に推進するための法律です。
令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

すべてのこどもが自立した個人として権利を守られ、平等に幸せな生活が送れるようにすることを目指しています。

こどもの視点に立ってこどもの意見を聴き、家庭や福祉、健康、こどもの権利を守るための施策を含みます。

こども基本法 第11条

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

2

今日のスケジュール

まずは、簡単な説明を行います。
続いて、テーマ①・②について、ディスカッションします。
最後に、ディスカッションの内容をそれぞれ自分の言葉で
まとめて発表していきます。

スケジュール

- ・ 主旨説明（10分）
- ・ ルールの説明・アイスブレイク（10分）
- ・ ディスカッション（45分）※テーマ①15分 テーマ②20分
- ・ 各グループの内容発表（15分）
- ・ 終わりの挨拶（15分）

3

今日のワークショップの目的

ワークショップでいただいた意見や提案を、
「福生市子ども計画」に活かしていきます。



テーマ①

「子どもにとってどんなまちが住みやすいか？」
～あなたにとってほっとできる場所、居心地のよい場所は？～

テーマ②

「子どもの権利が守られる社会をつくるために」
～みんなが笑顔で自分らしくいられるためには？～

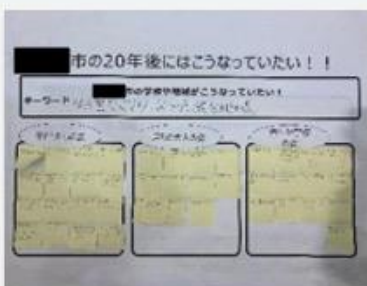
4

模造紙を完成させよう

思いついたことを付箋に書いて、模造紙に貼っていきこう。

※ひとつの付箋に1つの意見！

貼った付箋をグループに分けて整理していきこう。



5

「参加しているみなさんが主役です」 自分たちで自由な発想で意見を言い合おう

意見のすべてが大切なアイデアです
間違いはありません

人の意見を否定しないようにしましょう



6

ワークショップについての4つのルール！！

1. **自由奔放**（奔放な発想を歓迎し、どんな意見でもかまわない）
2. **批判厳禁**（どんな意見が出てきても、それを批判してはいけない）
3. **量を求む**（数で勝負。量の中から質の良いものが生まれる）
4. **便乗発展**（アイデアを結合し、改善して、さらに発展させる）

7

今日のワークショップについて



8

STEP 1 …まずは簡単なゲームを！

まちのGoodなところ！

福生市のまちのよいところをそれぞれ発表します。
1人が発表し終わったら全員で拍手をして、順番に発表して
いきます。

意見交換することで、福生市のまちのよいところを再発見でき
るだけでなく、皆さんの感性や興味を持っていることを共有して、
お互いを理解していきましょう。
なるべくポジティブなことを伝えるようにしていきましょう。

9

STEP 2 … テーマ① ディスカッション！

居場所について考えよう

「子どもにとってどんなまちが住みやすいか？」について考えて
いきましょう。

- ・自分たちにとってほっとできる場所、居心地のよい場所など
具体的な場所をイメージしてみましょう。
- ・その場所が「ほっとできる」「居心地のよい」理由を考えて
みましょう。
- ・いまは近くにはないけれど、新しくできたらいいと思う場所を
考えてみましょう。

(例)

学校
自宅
ゲームセンター

友達と触れ合える
誰にも邪魔されない
楽しい気分になれる

学校内のカフェ
無料の遊び場
市内のフリースペース

10

STEP 3 … テーマ② ディスカッション！

子どもの権利について考えよう

そもそも『子どもの権利』とは何か知っていますか？

「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。

- ① **生きる権利**…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。
- ② **育つ権利**…教育が受けられる。持っている能力を伸ばせる。
- ③ **守られる権利**…虐待を受けない。労働を強要されない。幸せを奪われない。
- ④ **参加する権利**…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開ける。

11

STEP 3 … テーマ② ディスカッション！

子どもの権利について考えよう

「みんなが笑顔で自分らしくいられる姿」はどのような姿をイメージしますか？考えていきましょう！

- ・「なぜ自分らしくいられると感じるのか」の理由を考えてみましょう。

(例)

部活動に励んでいるとき
趣味を満喫しているとき 等



12

STEP 4 …発表！

発表しよう

ディスカッションの内容を整理しよう。

順番に発表していこう。

困った時はファシリテーターに相談してサポートしてもらおう。



福生市 こども計画 策定のための 高校生ワークショップ

皆さんの意見を
聴かせてください！



福生市公式キャラクター たっけ[★]

開催日時 令和6年6月15日(土) 午前10時00分から正午まで

会場 もくせい会館3階会議室(市役所向かいの建物)

参加者 福生市内在住・在学の高校生(約20人)

内容 高校生の意見を聴くイベント
「こどもにとってどんなまちが住みやすいか？」等
テーマに沿って意見を出し合い、発表していただきます。

※ワークショップで撮影した画像・映像を市のホームページや広報等に掲載する場合があります。
あらかじめご了承ください。

問合せ

福生市役所 子ども家庭部 子ども政策課 子ども政策係
(電話 042-551-1733)